

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

追いかけて続ける勇気さえあれば 夢は必ず叶います

大宜味中3年生を手づくりプレゼントで応援



2月17日（金）、大宜味中学校3年生に「大宜味中学校3年生貴勢クラス輝く28名を応援する会」から、コロナ禍の中、高校受験に向けて頑張る3年生にサプライズプレゼントが手渡されました。

これまでの日常が戻りつつあるものの、中学校生活3年間、行事や学校生活で自粛や制限を余儀なくされた今年の3年生。不安の残る中、春にはそれぞれの夢に向かって高校受験に挑みます。そんな3年生たちの頑張りに後押ししたいと、今年も住民福祉課の島袋経子さんが発起人となり、役場の同志や大宜味村民生委員・児童委員協議会（平良政代会長）などが集まり「大宜味中学校3年生貴勢クラス輝く28名を応援する会」を結成、準備を進めてきました。

サプライズプレゼントには美らベリー（いちご）とシークワサーゼリー、シーちゃんクッキー、シークワサーカップケーキ、受験にきつと勝つという願いが込められたキットカット、そして3年生に向けた応援メッセージも入れました。ケーキに使用した卵は宮城辰徳さん、イチゴは沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社さんのご厚意により提供してもらいました。一つ一つに中学生を応援するメンバーの気持ちが込められた今年のプレゼント。

民生委員会長の平良政代さんは「私たちも応援隊の一員。大宜味村にはみなさんを応援してくれる応援隊がいる。村の宝であるみなさんを見守っていきたい。ウォルトディズニーの言葉のように『追いかけて続ける勇気さえあれば 夢は必ず叶います』3年生頑張れ！！」と応援しました。

プレゼントを受け取り森田海斗さんは「私たちのためにこのような企画をしてくれありがとうございます。今は受験の真っ只中で疲れることもあるけれど休みながら、困った時は周りの人に相談しながら頑張っていきたい」と感謝の気持ち伝えました。

応援隊のみならず、村民みんなが応援しています！頑張れ！！3年生！！



大豆をまるごと活用して 令和4年度わんぱく体験団 第6弾「ゆし豆腐作っちゃう!? 修了式」

2月18日（土）、令和4年度わんぱく体験団第6弾「ゆし豆腐作っちゃう!? 修了式」が開催されました。食べたことはあっても、豆腐を作ってみよう！ そもそも豆腐は何をどうしたらできるの？と、ということで今回は本部町にある山城とうふ店の石原ゆきのさんを講師に招き、子どもも大人も初挑戦！ゆし豆腐づくりが始まりました。



まずは前日から水に浸けてふやかした大豆と水をミキサーに入れてまわします。次にミキサーにかけた大豆を水分と個体に分けます。この時、絞ってとれた水分が生豆乳、布に残ったかすが生おからになります。地味だけれどもめっちゃくちゃ力のある作業。絞って絞って搾りまくります。各班、おいしいゆし豆腐を作るため奮闘中♪

生豆乳は鍋に入れ、中火にかけて沸騰させます。沸騰したら、火を止めにかがり水を入れて優しくかき混ぜます。ここでポイントは優しく混ぜます。とにかくゆっくりゆっくり優しく混ぜます。

混ぜてくと、豆腐が固まり、水分と分離していきます。湯が少し黄色くなったらできあがり♪のはずでしたが、なぜか豆腐が固まらない…。にかがり水を増やして何とか固まった班もあるけれど、何かが違う。



とりあえず、ゆし豆腐のことは後で考えよう…。次は生おからを使っておからいりちやーを作ります。まずはにんじんをいりしり、ポークとねぎは適度な大きさに切ります。具材を炒めながら味をつけ、ひじき、生おからも加えて炒め、最後にねぎを入れたらできあがり。基本的な味付けは伝えましたが、あとは味見をしながら自分たちで満足いく味になるよう調味料を足していきます。使う道具も自分たちで何が使いやすいか考え用意していきます。

おからいりちやーができたところで、ゆし豆腐と持参してきたおにぎりで昼食です。さてさてお味は?? これはゆし豆腐?? 正解の味がわからないけれど、おいしい、まあおいしい。しょっぱかったり、苦かったり班によってばらつきはあったけれど食べられるゆし豆腐になりました。おまけのつもりで作ったおからいりちやーはどの班も美味しかったです。



自分たちのゆし豆腐を食べた後、石原さんが作ってくれたお手本のゆし豆腐を食べると本当のゆし豆腐を知る、わんぱくと大人たち。ゆし豆腐ってこんな滑らかだったんだね。仕上げはゆし豆腐を木箱で固めて島豆腐にしてくれました。これもおいしかった。

今日は今年度最後のわんぱくということで、最後は修了式。参加した9名一人一人に修了証書が手渡され、今年度の活動を1日も休まず参加した琉彩さんに皆勤賞が贈られました。コロナの影響を受ける時もありましたが、6回の活動を無事終えることができました。来年度も様々な活動に挑戦したいと思います！団員のみなさん、お疲れ様でした。

園で弾ける子どもたちの笑顔 おおぎみこども園保育参観



2月16日（木）、おおぎみこども園において保育参観が行われました。

平日開催にも関わらず、多くの保護者が訪れ、わが子の園での様子を見守りました。

教室で風船遊びやいす取りゲームをしたり、園庭で遊具や三輪車、なわとびやサッカー

で遊んだり、思い切り楽しむ園児たち。自分たちでルールづくりをするなど遊びにも工夫が見られました。

自分たちで司会進行も行い、こまたいかいをしたでいごぐみ。トーナメントを勝ち進んだチャンピオンは名人の守方おっちゃん

と孝治さんと対戦します。最後の対戦にお友達からは大きな声援がおくられます。おっちゃん、孝治さんを制して、こまたいかい初代チャンピオンは宮城明和（あお）さんに決まりました。お父さんやお母さんも参加してできたこまたいかいは大いに盛り上がりしました。



長年の功績が認められて… 村給食センター玉城宏美さん表彰

2月22日（水）、大宜味村学校給食センターにおいて給食センター調理員として長年大宜味村の給食に携わっている玉城宏美さんを表彰する伝達式が行われました。

この賞は沖縄県学校給食研究協議会から表彰されたもので、学校給食の重要性を深く認識し長年に渡り学校給食の発展に尽力した功績を讃えられて送られたものです。

宏美さんは台風や停電、人材確保など給食センターの数々のピンチを救い、自ら率先してリーダー的役割を果たし、新人教育、職場の雰囲気づくりに努めてくれました。

賞状を受け取り、宏美さんは「一人ではできないことも給食センターのみなさんの協力があったからこそ。チームワークがあったもの。みなさんのおかげでとれた賞だ」と喜びました。

学校で栄養満点のおいしい給食が食べられるのも宏美さんを始め、多くの方の尽力のおかげです。

感謝して食べましょう！いつも美味しい給食ありがとうございます！！



伝統の力を教育の力へ… 大宜味村学力向上推進実践報告会

2月5日（日）、小中学校で行われた日曜参観後、大宜味小・中学校体育館において令和4年度大宜味村学力向上推進委員会実践報告会・教育講演会が開催されました。

7年ぶりの開催となる実践報告会・教育講演会は学力向上推進委員会の推進目標、スローガンをもとに今年度の各学校（園）、教育委員会の取組み、実践について報告し、次年度活動に向けて実りあるものとしていくこと、教育講演会を通して今後の本村学推の改善充実に役立てることを目的に行われます。

委員会、各学校の今年度の取組み、成果と課題の報告の後、講師に辺土名高校の東竜一郎先生による「大宜味村の未来について」～辺土名高校が担う役割とは～と題した教育講演会が行われました。

東先生は辺高生が生きもの調査や観光案内などやんばるの自然を活かした様々な活動をしていることを紹介。辺土名高校で学び、将来、やんばるの自然を守りたい、世界中の人に知ってもらいたい、この地域のために働きたいと思う人が育つことを期待していると思いを伝えました。



東竜一郎先生

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第1回 教育委員会会議 令和5年1月31日（火）午後2時30分 開催

＜審議事項＞

議案第1号 大宜味村独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金徴収規則 原案可決

議案第2号 大宜味村部活動等の在り方に関する方針〔改訂版〕について 原案可決

図書室情報 No.43 2023年（令和5年）3月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ2,372人
- 貸出冊数…4,264冊
- 登録者数…147人

2月の統計（2/24まで）

- 来室者数…のべ80人
- 貸出冊数…138冊

現在の蔵書数…6,783冊

3月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

新着図書

2月上旬～貸出予定



※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。体調の優れない方は、来室を控えてください。

見て、見て子どもたちの活躍 大宜味小・中日曜授業参観



2月5日（日）、大宜味小学校、中学校において日曜授業参観が行われました。

日曜日とあって、たくさんの保護者が参観に来たこの日、小学校ではお父さん、お母さんの登場にソワソワ、ワクワクする児童たち。お母さんに教えてもらいながら一緒に問題を解いたり、お父さん先生から釘の打ち方を習ったり、いつもとは少し趣の違う授業に笑顔がいっぱいになりました。



反対に落ち着いて授業を受ける中学生たち。多くの保護者が見守る中、後ろを気にしつつもいつもと変わらない様子でそれぞれの勉強に励みました。

4時間目は講師にヒューマンプロデュース代表の當銘康起さんを招き、キャリア教育講演会「自分の人生に向き合おう～気づきを行動に～」が行われ、実践してほしい「協力すること・愛すること・感謝すること」の3つのことを教えてもらいました。

生徒を代表して高江洲千歌さんは「自分自身という存在がなくてはならないことを知った。過去の失敗や経験が自分の魅力を付ける力になることを知り、常に自分をグレードアップさせたいと思った。『自分』と言う最高の存在を大切にしたい」と感想を述べました。保護者も参加でき、うちあたいることが多く、大人も勉強になる講演会となりました。



當銘康起さん





橋が架かる以前の塩屋湾



明治35年頃の大宜味小全景（現在の沖縄電力塩屋出張所内）



幼稚園卒園記念 国頭村にて（田嘉里）



民家の縁側にて（津波）



シークワサーの収穫 押川 昭和50年代



平良医院前に立つ平良真順医師93歳 1963年（沖縄県公文書館）



ウスデーク（喜如嘉）



公民館保育所（白浜）



売店の前で芋の計量をする人々（謝名城）



お茶畑の共同作業か（田嘉里）



村史編さんだより

第143号 2023年8月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

～沖縄県地域史協議会 第2回研修会 参加報告～

沖縄県地域史協議会 2022年度第2回研修会に参加しました！沖縄県地域史協議会とは、地域史編集に関わる機関や個人が連携し、情報や資料を共有、親睦を図ることで、新たな史資料の発掘・収集を推進し、市町村史（誌）など地域づくりの発展と、地域文化の振興に寄与することを目的として、1978（昭和53）年に設立された歴史ある団体です。

県内の市町村史は勿論、沖縄県立博物館やひめゆり平和祈念資料館、沖縄県史を編さんする教育庁文化財課など、35の機関と66人の個人会員で構成され、我々も末席で勉強させてもらってきました。本来なら、市町村持ち回りで研修会が行われ、座学と共に地域の特色ある史跡を巡る「巡見」も楽しみの一つですが、去年度に引き続き今回もリモート開催となりました。

本研修の全体テーマとして【地域史から考える戦後沖縄の編み方】を掲げ、立命館大学の岸政彦氏による「戦後沖縄の生活史を編むということ」と題した基調講演では、長年に亘る聞き取り調査の経験を元に、調査の手法や調査を通して感じたことなどを、社会学の視点から述べられました。その中で、「聞き取り調査においては、こちらの聞きたいことだけを要領よく答えてもらおうという態度は、話者に対して大変に失礼なことで、“話者の半生に耳を傾ける”ぐらいの気持ちで、敬意を忘れずに信頼関係を築くことが重要である」という言葉が印象的でした。続いて各機関からは次のような報告がありました。

- 1、『沖縄県史 現代編』の編集を終えて（沖縄県史）
- 2、『宜野湾市史』戦後資料編の編集について（宜野湾市史）
- 3、戦後生活史編の取り組みについて（名護市史）
- 4、村史編集室が担う行政資料集約機能について（読谷村史）
- 5、自治会および学校資料の調査収集一地域における戦後史研究にむけて（豊見城市史）

大宜味村では現在、通史編と資料編の編集作業を行なっているところですが、各機関による先進的な取り組み・実務の状況報告を聞き、昭和54年に発刊された前の通史以降から現在までの出来事を総合的に編さんするための考え方や、資料収集をどこまで行えばいいかなどを具体的に考えるよい機会になりました。今回の研修で得た情報は今後の村史づくりに生かしていきたいと思えます。



☆大宜味村史『写真集』販売について☆

村関係の写真を1,000枚以上収録したフルカラー・350ページのボリュームで見応えのある写真集となっています。販売以外にも図書室で閲覧・貸出も行なっておりますのでご利用ください♪

書籍名：大宜味村史『写真集』（令和4年12月発刊）

販売価格：¥3,000

販売場所：大宜味村教育委員会 村史編纂係（図書室内）

9時～5時（※お昼12時～1時、土日祝を除く）

連絡先：村史編さん係 0980-44-3009

★表紙は塩屋集落から見た宮城島（沖縄県公文書館所蔵）

